

福島第二原子力発電所 新企業センターの 建設について

2023年6月7日

東京電力ホールディングス株式会社

福島第二原子力発電所 新企業センターの建設について

- 2027年度の使用済燃料取り出しに向けて、構内の「福島第二原子力発電所協力企業棟」エリアに使用済燃料保管施設を設置するため、構外への移転について検討を進めてまいりました。
(2022年4月27日「浜通りにおける廃炉産業集積の取り組みについて」でお知らせ済)
- このたび、移転先が決定したことから、新企業センターの概要についてお知らせいたします。
- 新企業センターは、協力企業様の拠点および福島第二原子力発電所所員の勤務拠点としての活用により両者の連携強化を意図する事に加えて、福島復興の一助とするため「復興と廃炉の両立」を目指し、発電所構外における人の賑わいに少しでもお役立ちできるよう、構外に移転することといたしました。
- 新企業センターの建設および運用にあたっては、作業安全は元より近隣における交通影響等について、十分な調査・検討を実施し、関係個所と調整のうえ、事故等がないよう万全を期して進めてまいります。

新企業センターの概要

建設予定地	双葉郡富岡町大字本岡字本町（商業施設跡地） （廃炉資料館、浜通り電力所に近辺の町の市街地復興先行区域）
規模 (2023年6月時点)	人 数： 協力企業 12社 約800名 + 福島第二：所員約100名 車両台数： 約600台
着工・竣工予定	着工予定：2024年6月 竣工予定：2026年12月

■ 建物概要・今後のスケジュール（予定）

【建物概要】

構造	鉄骨造
階数	4階
建築面積	約2,700㎡
延床面積	約9,500㎡
基本方針	カーボンニュートラルへの貢献 ・内外装材の木質化 ・ZEB Ready※ を目標に設計

※ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)とは先進的な建築設計によるエネルギー負荷の抑制等の技術の導入や再生可能エネルギーを導入することにより、エネルギー自立度を極力高め、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロとすることを目指した建築物

【今後のスケジュール（予定）】

	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)
敷地測量・地盤調査		2023.6~2023.7 ●●			
基本設計		2023.1~2023.7 ●————●			
実施設計			2023.8~2024.6 ●————●		
建設関係工事				2024.6~2026.12 ●————●	
交通影響等の検討・実施		2023.5~2026.12 ●————●			

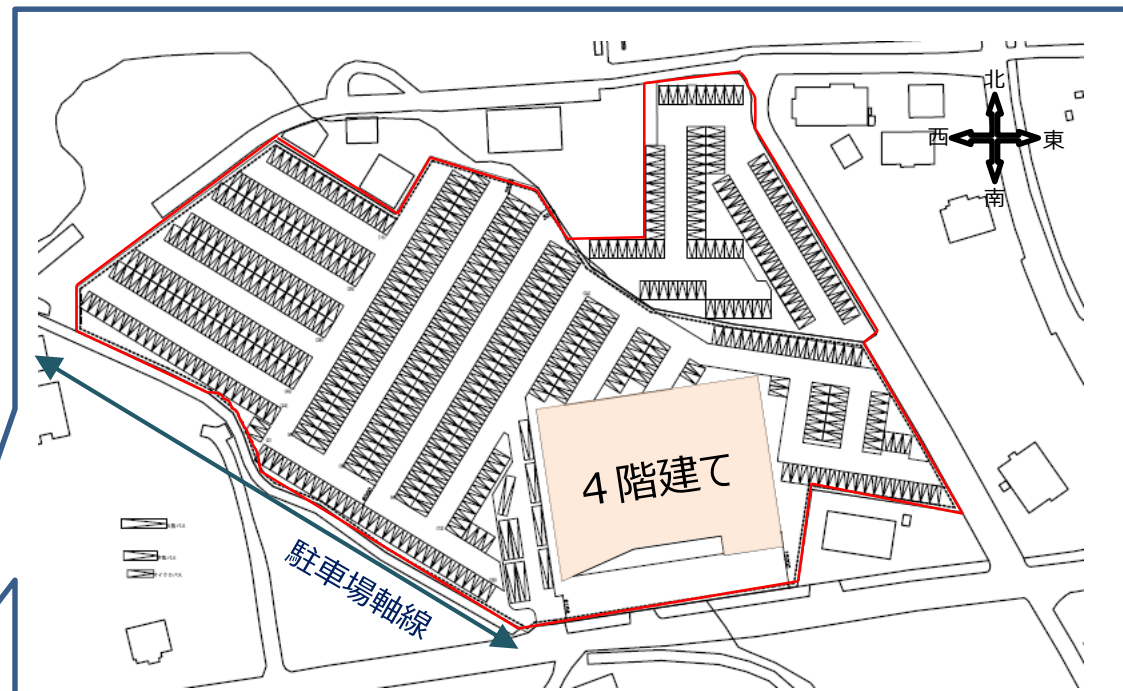
【参考】配置計画・建設予定地

【参考】

<配置計画>

- ・敷地面積：約20,000m²
- ・建築面積：約2,700m²

双葉郡富岡町
大字本岡字本町
(商業施設跡地)



<建設予定地>



出典：国土地理院「地理院地図(電子国土Web)」をもとに東京電力ホールディングス株式会社にて作成
[当該ページURL] <https://maps.gsi.go.jp/#18/37.500319/140.992950/&base=ort&ls=ort&disp=1&vs=c0j0h0k0i0u0t0z0r0s0m0f1&d=m>